

## いずも縁結び電力株式会社の経営状況について

## 1. 事業の概況

## (1) 事業の経過

いずも縁結び電力株式会社（代表取締役 芥川和弘）は、出雲エネルギーセンターの電源を中心とする地域内の再生可能エネルギーを調達し、市内の公共施設に供給する事業を通じて出雲市における再生可能エネルギーの利用率、地産地消率を高めることを目的に令和3年7月19日に設立しました。

令和3年11月に小売事業者登録など手続きを経て、令和3年12月1日から公共施設への電力販売を開始しています。

## (2) 電力販売状況（令和5年3月31日現在）

## ①供給施設

出雲市公共施設（特別高圧受電施設・高圧受電施設）138施設

※出雲市役所本庁舎、来原浄水場、出雲健康公園など

## ②契約電力実績 18,567kW

③年間送電電力量 39,841,572kWh(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

④年間電力使用量 37,931,814kWh(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

※③年間送電電力量と④年間電力使用量の差(1,909,758 kWh)は、発電所で発電した電気が公共施設に供給される(送電)までの間に送電線の抵抗などにより一部が失われてしまう電力量(送電ロス)

## (3) 電源調達状況（令和5年3月31日現在）

発電所名	最大受電電力 (kW)	年間発電量 (kWh)	受給開始日
窪田発電所	600	3,450,366	令和3年12月1日
出雲エネルギーセンター	4,800	24,413,120	令和4年4月1日
キララトゥーリマキ風力発電所	1,700	923,105	令和4年4月1日
出雲 SORARiE 大社太陽光発電所	4,410	3,170,071	令和4年8月1日
合計	11,510	31,956,662	

※不足分は、いずも縁結び電力(株)の筆頭株主である JFE エンジニアリング(株)のグループであるアーバンエナジー(株)より調達しています。不足分の電源としては、廃棄物発電やバイオマス発電、太陽光発電等、JFE グループの再生可能エネルギー電源をベースとしています。

## 2. 決算状況について

単位：千円

	第1期	第2期
期間	令和3年7月19日から 令和4年3月31日まで	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで
売上高	206,048	989,240
経常利益	▲1,761	1,519
当期純利益	▲1,389	1,170
純資産	48,611	49,781
総資産	163,305	248,398

## 3. 設立による効果について

### (1) 温室効果ガス（二酸化炭素）の削減

- ・ 設立時想定効果 年間約 13,000 t-CO<sub>2</sub> の削減  
(R元年度における排出量が▲58%)
- ・ 効果（令和4年度実績）年間約 15,500 t-CO<sub>2</sub> の削減  
(R4年度における排出量が▲61%)

※検証のため、従前の電力会社の電力排出係数は想定時の数字で比較

### (2) エネルギーの地産地消（市内で生み出した電力を市内で消費すること）

- ・ 設立時想定効果 約 60%
- ・ 効果（令和4年度実績）約 73%

出雲エネルギーセンターと窪田発電所のほか、新たに電源調達先を2か所確保したことが地産地消率の上昇につながっています。

### (3) 公共施設の電気料金削減

- ・ 設立時想定効果 約 6,400 万円  
(R元年度における電気料金が▲10%)
- ・ 効果（令和4年度実績） 約 8,300 万円  
(R4年度における電気料金が▲11%)

※従前の電力会社との契約内容で試算した電気料金の比較です。

## 4. 今後の取組

### (1) 公共施設の太陽光発電 P P A 事業の検討

再生可能エネルギーの利用率を高めるために、市内の発電事業者や太陽光発電設備施工会社と連携し、公共施設への自家消費型太陽光設置による創エネ事業（太陽光発電 P P A 事業）の実施を検討します。

### (2) 地産電源の調達先の拡大

市内の再生可能エネルギーの調達を増やし、地産地消率の上昇を図ります。